

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年5月26日～2016年6月1日)

平成 28 年(2016 年)6 月 3 日

H E A D L I N E S

政治

欧州委員会、憲法法廷問題に関する意見書を採択
 V4国防大臣会合に国防大臣参加
 国防大臣ハンガリー訪問
 カルチェフスキ上院議長のジョージア訪問
 クフチンスキ下院議長のドイツ訪問
 カルチェフスキ上院議長のウクライナ訪問
 ヴァシチコフスキ外務大臣とザリーフ・イラン外務大臣との会談
 NATO事務総長のポーランド訪問
 シドゥウォオ首相とロイヴァス・エストニア首相との会談

経済

中国市場への期待
 ポーランド開発基金の戦略
 4月の失業率は9.5%
 ポーランド経済のデジタル化加速に提言
 イラン外務大臣の訪問
 露との長期ガス供給契約は更新しない方針ーナイムスキ政府特命全権

大使館からのお知らせ

在外選挙に関するお知らせ
 イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

読者からの投稿

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

欧州委員会、憲法法廷問題に関する意見書を採択【6月1日】

1日、欧州委員会は、「法の支配メカニズム」の下におけるポーランドの憲法法廷問題に関する意見書を採択した。意見書はポーランド政府に送付され、同国政府は2週間以内に欧州委員会に見解を述べることができる。意見書の内容は非公開であるが、欧州委員会が発表したプレス・リリースでは、前下院が選出した憲法法廷判事3名に対する大統領による宣誓受諾が行われていないこと、昨年12月に成立した憲法法廷改正法の違憲性に関する3月9日の憲法法廷判決が履行されていないこと、本年成立した新しい法律の合憲性に関する確認プロセスが効果的に機能していないこと、が主な問題点として上げられている。欧州委員会における意見書の採択は「法の

支配メカニズム」の第一段階であり、これを受けて状況が改善しない場合、同委員会による勧告、EU条約第7条（理事会による加盟国への制裁等の決定）の発動にまでプロセスが進む可能性がある。

欧州委員会の意見書採択を受けて、1日、シドゥウォ首相は同意見書が欧州委員会の意見に過ぎないとの見解を示した。また2日、ヴァシチコフスキ外相は、欧州委員会による意見書は拘束力のあるものではなくポーランド政府に対する提案に過ぎない、「法の支配メカニズム」は欧州委員会の内部プロセスであり他のEU加盟国の同意を得たものではない、我々は様々な助言を受け入れるが憲法法廷問題はポーランド国内の法的及び国会のプロセスを通じて主権的なプロセスで解決される旨述

外交・安全保障

V4国防大臣会合に国防大臣参加【5月27日】

25日、マチェレヴィチ国防大臣はチェコのリブレツツで開かれたヴィシエグラード4カ国国防大臣会合へ参加した。会合では、東欧及び南欧の安全保障に対するV4の貢献を焦点に協議した。

会合後、国防大臣は、V4同盟国の間で、東方境界の強化し、ポーランドに多国籍旅団を置くことを含めた抑止と防衛を強化することをNATOワルシャワサミットで支持することに合意したと述べた。また、「スワブキ回廊」の防護に失敗した場合は、NATO軍は包囲されるので、同回廊の防護の必要性を強調し、バルト諸国と新規の共同演習を計画している旨述べた。

国防大臣ハンガリー訪問【5月27日】

25日、マチェレヴィチ国防大臣はハンガリーを訪問し、イヴァン・シメスコ国防大臣と会談し、両間の軍事産業の協力等について協議した。

カルチェフスキ上院議長のジョージア訪問【5月30日】

5月26～27日、カルチェフスキ上院議長は、ジョージアを訪問し、ジョージア独立25周年式典に出席した他、マルグヴェラシヴィリ大統領及びウスパシヴィリ国会議長と二国間関係及びNATOワルシャワ首脳会合について意見交換を行った。

クフチンスキ下院議長のドイツ訪問【5月30日】

5月31日、クフチンスキ下院議長は、ベルリンを訪問し、ドイツ連邦議会及び連邦参議院の両議長と面会し、ポーランド・ドイツ友好条約について意見交

換した他、ポーランド・ドイツ対話の歴史に関する展示会の開会式典に出席した。

カルチェフスキ上院議長のウクライナ訪問【5月31日】

5月30～6月1日、カルチェフスキ上院議長及び10名の国会議員は、ウクライナを訪問し、ウクライナ及びリトアニア国会議員と今後の議員間協力促進について協議を行い、ポーランド及びリトアニアはウクライナのEU及びNATO加盟支援を継続することが表明された。この3国による議員間協力の枠組みは2005年に設立された。

ヴァシチコフスキ外務大臣とザリーフ・イラン外務大臣との会談【5月31日】

5月29～30日、ザリーフ・イラン外相がポーランドを訪問し、ヴァシチコフスキ外相及びソロフ国家安全保障局(BBN)長官と会談した。会談は政務協議に関する覚書に署名した後、経済、政治及び文化の分野における二国間関係について意見交換がなされた。

NATO事務総長のポーランド訪問【6月1日】

5月30日及び31日、ストルテンベルグNATO事務総長がポーランドに訪問し、ドゥダ大統領、シドゥウォ首相、マチェレビッチ国防大臣、ヴァシチコフスキ外相と会談を行った。

ドゥダ大統領は、ポーランドはNATO首脳会合が包括的な成果を出し、東方及び南方の安全保障上の問題への回答を示す機会となることを重視するとともに、NATOミッションを支援するためのフリーゲー

ト艦「コシュチュエシコ」のエーゲ海派遣を正式決定した旨述べた。

シドゥウォ首相は、この機会にポーランドにおけるNATOのプレゼンス強化への期待を示した。

マチェレヴィチ国防相は、NATOの4個大隊をポーランド及びバルト諸国の拠点へ駐屯させ、NATOの東方プレゼンスの重要な要素を担うことは決定している。また、フリゲート艦「コシュチュエシコ」をエーゲ海に派遣し、バルカンルートへの警戒任務を開始する旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相は、NATOワルシャワ首脳

会合は同盟軍の展開による東方地域の安全確保に関する決定が下され、南方地域における脅威に対する回答も示されなければならない旨述べた。

シドゥウォ首相とロイヴァス・エストニア首相との会談【6月1日】

6月1日、シドゥウォ首相は、ワルシャワ訪問中のロイヴァス・エストニア首相と会談を行い、NATOワルシャワ首脳会合、二国間関係、鉄道及び高速道路の建設に関与した経済活動についても意見交換がなされた。

経 済

経済政策

中国市場への期待【5月27日】

ユルギエル農業大臣は、ポーランドの果物・鶏肉に対して中国市場が開かれればロシアの禁輸措置の影響が軽減されるとして、中国国家主席のポーランド訪問に期待すると発言した。ポーランドの対中国輸出規模は現在1億2千万ユーロ。

ポーランド開発基金の戦略【5月31日】

今後25年間の開発戦略「モラヴィエツキ・プラン」

の一環として4月に設立された「ポーランド開発基金」（既存の産業開発庁(ARP)、情報・外国投資庁(PAIIIZ)、輸出信用保険会社(KUKE)、ポーランド開発銀行(BGK)、ポーランド企業開発庁(PARP)を統合)のCEOとして5月に就任したPekaó銀行のPawel Borys氏は、開発基金の詳細な運営戦略を7月初頭に採択し、同基金の運営に関する法案を年内に策定したいと発表した。

マクロ経済動向・統計

4月の失業率は9.5%【5月25日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の失業率は9.

6%で、3月の10%から一桁台に復帰。登録失業者数は1.5百万人。

ポーランド産業動向

ポーランド経済の電子化加速に関する提言【5月27日】

アンシブ欧州委員(デジタル単一市場担当)は、モラヴィエツキ副首相兼経済開発大臣及びストレジンスカ・デジタル化大臣と面談した。ポーランド経済の電子化が進んでいることを認めつつも、政府や行政手続きにおける電子化をさらに進めるべきであると指摘した。同副委員長はEU域内の電子化市場の統合に向けたコンテンツへのアクセス自由化や域内ローミングの無料化を来年実施すると改めて強調した。

イラン外務大臣の訪問【5月30日】

イランのザリーフ外務大臣が29、30日にポーランドを訪問した。ヴァシチコフスキ外務大臣と両国の関係強化に向けて意見交換を行い、両国の貿易は2014年の20倍となる10億ドル規模になるだろうと述べた。また、同外務大臣はイランとの貿易経済フォーラムにも出席した。フォーラムにおいては、経済開発省、エネルギー省幹部より資源分野での協力や放射線技術を利用した医薬品分野での研究開発等の協力への期待が述べられた。

エネルギー・環境

露との長期ガス供給契約は更新しない方針—ナイムスキ政府特命全権【5月31日】

ナイムスキ戦略的エネルギーインフラ担当政府特命全権は、ロイターの取材に答え、2022年に期限の到来するエネルギー企業PGNiGと露ガスプロム社との長期ガス供給契約を更新せず、短期契約は

価格に応じ検討する考えを示した。同全権はまた、1月に国有財産大臣が提起した石油企業PKN Orlen、LOTOS及びPGNiGの統合については、分析は調査中であり決定は現時点でなされていないと述べた。また、長期のエネルギー源見直しに関連し、ポーランドは今後30年程度石炭に依存することになると指

摘した。

ナイスキ政府特命全権の発言に関し、Rzeczpospolita 紙はガスプロム社側としては西側へ

のガス販売確保のため、PGNiGに対し金額の引き下げをはじめとする交渉を持ち出す可能性があるとして報じている。

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ

6月23日から7月2日まで、当館にて第24回参議院通常選挙に伴う在外投票が行われます。詳しくは当館のホームページを御覧下さい。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起

1. 5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。同声明では、特に欧米諸国におけるテロの実行を呼びかけており、民間人を対象としたいわゆる一匹狼(ローンウルフ)型のテロの発生も懸念されます。本年については、6月6日頃から7月5日頃までが、ラマダン月(イスラム教徒が同月に当たる約1か月の間、日の出から日没まで断食する)に当たります。また、ラマダン終了後には、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

2. ISIL は、昨2015年のラマダン月(6月18日頃～7月17日頃)においても、同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、昨年のラマダン期間中には、チュニジア沿岸部スースのリゾートホテル及び隣接するビーチが武装集団に襲撃され、外国人観光客38人が殺害されるテロ事件(6月26日)のほか、以下のテロ事件が発生しています。犯行主体は、ISIL 関連組織に限られませんので、様々なイスラム過激派によるテロに警戒が必要です。

- ・フランス: 東部リヨンにおけるテロ事件(6月26日)
- ・クウェート: シア派モスクにおける自爆テロ事件(6月26日)
- ・エジプト: カイロ郊外における検事総長殺害テロ事件(6月29日)
- ・マリ: 北部における国連車列襲撃テロ事件(7月2日)
- ・ナイジェリア: 北部及び中部での連続爆弾テロ事件(7月5日～7日)
- ・エジプト: カイロ市内のイタリア総領事館前での爆弾テロ事件(7月11日)

なお、上記事件のうち、複数の国で大規模なテロが発生した6月26日は金曜日に当たります。イスラム教では、金曜日が集団礼拝の日であり、その際、モスク等宗教施設やデモ等を狙ったテロや襲撃が行われることもあります。なお、本年のラマダン月については、6月10日、17日、24日、7月1日が金曜日に当たります。

3. ついては、特にラマダン(特に金曜日)及びイード期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所(モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4. なお、本年のラマダン期間中(6月6日頃から7月5日頃)には、仏において、サッカーの欧州選手権(6月10日～、同日はラマダン月最初の金曜日)、自転車のツール・ド・フランス(7月4日～)が予定されています。そのような世界的に注目を集めるイベントについても、テロの標的となる可能性があります。

仏でのイベントに関する注意喚起については、以下も参照してください。

- ・「フランス: サッカー欧州選手権等イベント開催に伴うテロの脅威に関する注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C152>

5. 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合に

は、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。

3か月以上滞在する方は、必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

3か月未満の旅行や出張などの際には、「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#>)

本件詳細については、以下のリンク先をご参照下さい。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C153>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願いを掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【予定】第4回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月4日(土)11時30分～19時】

ポーランド商工会、日本人会、日本大使館主催による第4回「日本祭り」がワルシャワのトルヴァルススポーツセンターで開催されます。和太鼓、舞踊、伝統音楽からポップまで様々なステージ演目、武道、着付け、書道、マンガ、生け花、けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に、観光情報コーナーや企業展示、日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所：TORWAR(スポーツセンター)ul. Łazienkowska 6a, 00-449 Warszawa

詳細：<https://www.facebook.com/Matsuri2014/>

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

【予定】第2回ウッチ日本語スピーチ大会【6月5日(日)12時～】

ウッチ市にて、梅田良忠教授記念ポーランド日本教育文化センター主催による『第2回ウッチ日本語スピーチ大会』が開催されます。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市、国立ウツジ考古学民族学博物館多目的ホール、Pl. Wolności 14

【予定】文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム【6月9日(木)～10日(金)】

トルン市にて、ニコラウス・コペルニクス大学日本学科・ポーランド日本研究協会共催による『文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム』が開催されます。谷崎潤一郎の作品に関する講演が予定されています。

開催場所：クヤヴィ=ポモージェ県、トルン市、Collegium Humanisticum, ul. Władysława Bojarskiego 1

詳細：http://www.home.umk.pl/~pjkj_umk/tanizaki.torun2016main.html

【予定】ポーランドジュニア・青年・子供剣道選手権大会【6月11日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第17回ポーランドジュニア剣道選手権・第12回ポーランド青年剣道選手権・第2回ポーランド子供剣道選手権』が開催されます。

開催場所: クヤヴィ=ポモージェ県, ビドゴシチ市, ul. Garbary 2

詳細: <http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>

【予定】第4回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」【6月11日(土)】

ノバ・サジナ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第4回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」』が開催されます。

開催場所: ポトカルパチェ県, ノバ・サジナ市, ul. Konopnickiej 2

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】シヨパン協会賞受賞者記念コンサート【6月11日(土)13時~】

ワルシャワ市にて、日本で開催された「ヨーロッパ国際ピアノコンクール」で優秀な成績をおさめたピアニストの演奏会「シヨパン協会賞受賞者記念コンサート」が開催されます。

開催場所: パプテスト第一会館, マゾフシェ県, ワルシャワ市, ul. Waliców 25

【予定】地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演【6月16日(木)~ 7月1日(金)】

ポーランド7都市: ブロツワフ, タルノフスキエグリュ, クラクフ, ワルシャワ, グダンスク, コビルニツァ, ズウプスクにて、一般社団法人地唄舞普及協会主催による『地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演』が開催されます。

詳細: <http://tokijyo.com/view/event.html>

【予定】日本文化との出会い【6月18日(土) 11時~】

ウッチ市にて、愛基金(フンダツィア・愛)主催による『日本文化との出会い』が開催されます。日本知識コンクール及びアニメ上映会の他、水谷監督(ウッチ映画大学4年生)による「ねずみの嫁入り」に基づく演劇「恋探し」が予定されています。

開催場所: ウッチ県, ウッチ市, ul. Tuwima 34

詳細: <http://ja.fundacja-ai.pl/>

【予定】国際ポーランドカップ柔道選手権大会 ソラニニック 2016【6月18日(土)~19日(日)】

ノヴァ・スル市にて、ノヴァ・スル市学生スポーツクラブ「オリンピック」主催による『国際ポーランドカップ柔道選手権大会 ソラニニック 2016』が開催されます。

開催場所: ルブスキエ県, ノヴァ・スル市, ul. Botaniczna

詳細: <https://www.facebook.com/events/174350719608668/>

【予定】作法の権威【6月19日(日) ~ 25日(土)】

梅見基金主催による小笠原流次期宗家小笠原清基氏による礼法についての講演が開催されます。

日程:

6月19~20日 プレゼンテーション(弓道, 茶道), クラクフ

6月21~22日 講演・デモンストレーション「日常生活における礼法の役割・意味」, ヴロツワフ

6月23~25日 プレゼンテーション「日本における礼法の歴史と現在」ワルシャワ大学, 「日常生活及び武道における礼法」ミシャドゥオ市文化・スポーツセンター, 「日本人とのコミュニケーションに役立つ礼法」, ワルシャワ市スウジェフ文化センター

詳細: http://umemi.pl/?page_id=454

【開催中】日本人形展【3月20日(日)~6月26日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/>

読者からの投稿

日本語劇「かぐや姫」上演のお知らせ

トルン、ニコラウス・コペルニクス大学日本学科2年生による日本語劇上演のご案内です。今回トルン初公演となりますが、学生たちが苦勞して日本最古の物語を脚本にまとめ練習に励んできた成果を皆様にお披露目いたします。

日時:6月10日(金)19:30

劇場: Akademyckie Centrum Kultury i Sztuki: **OD NOWA** ul. Gagarina 37a, Toruń

主催:ニコラウス・コペルニクス大学言語学部日本学科

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
news@mail@wr.mofa.go.jp(ご連絡は電子メールでお願いします。)